

キャリアネットワーク

第2号

「高等部における進路指導の取組について」

高等部主任 中道 正

高等部では、進路学習として、就業体験・生活体験を実施しています。就労を目指す生徒については、1年生の11月、2年生の6月と11月、3年生の6月に実施し、その後は就職が決まるまで随時、就業体験を行います。生活介護事業所等での生活体験は、2年生の11月、3年生の6月と、その後、必要に応じて行います。学校や家庭で身に付けた知識や技能を、企業や福祉施設という実際の場面で実践・確認するとともに、体験を通して明らかになった課題や評価を、今後の学習や生活の改善に活かす良い機会と捉えています。就業体験・生活体験を充実したものにするには、保護者の方の協力が欠かせません。また、体験を機会に、卒業後の生活をイメージした家庭での支援を考えることは、生徒の将来の自立や社会参加に向けた準備という点でも、非常に意義のあることです。

進路決定のためには、進路先となる企業や福祉施設の情報はもとより、普段の生活に関わる障害福祉サービスの仕組みや内容など必要な情報がたくさんあります。保護者の方々とそれらの情報を共有し、連携を取りながらよりよい進路選択につながるよう、学校と家庭が協力して支援することが必要となってきます。今後ともよろしくお願いします。

高等部就業体験・生活体験

☆就業体験・生活体験を行いました。

高等部2年生 就業体験先 (6月6日～6月17日)

<企業等>

- ・株式会社魚国総本社 北陸支社
- ・富山総合ビルセンター株式会社
- ・株式会社大阪屋ショップ 藤木店
- ・株式会社大阪屋ショップ 北新町店
- ・アルビス株式会社 新庄店
- ・株式会社昔亭 金屋工場

<就労継続支援事業所>

- ・就労継続支援 A 型事業所 self-Aハニービー環水公園前
- ・就労継続支援 B 型事業所 日本社会福祉デザインセンター
- ・就労継続支援 B 型事業所 ジョブステーションさくら下熊野

高等部3年生 就業体験・生活体験先 (6月6日～6月24日)

<企業等>

- ・株式会社富山青果センター 立山プロセスセンター
- ・株式会社スギノマシン 早月工場 ・太平ビルサービス株式会社 富山支店
- ・DCM株式会社DCM婦中店
- ・朝日印刷ビジネスサポート株式会社

<就労継続支援事業所>

- ・就労継続支援A型事業所 ほまれの家経堂店
- ・就労継続支援A型事業所 巧
- ・就労継続支援A型事業所 JOBふくたち
- ・就労継続支援B型事業所 分々
- ・就労継続支援B型事業所 ひまわり



体験生徒の感想・保護者アンケートより

作業能力を褒められてうれしかったです。コミュニケーション力を付けたいから、日頃から友達との会話をもっと増やしたいと思いました。(就業体験・生徒)



最初はとても不安や心配がありましたが、日に日にできることが増えて自信になり、本当に良い経験になりました。

(就業体験・保護者)

体験では、野菜をきれいに包装することを頑張りました。ミスをしないように気を付けました。この体験先で働きたいと思いました。(就業体験・生徒)

無事に体験先に着いたかな、頑張っているかなと心配していましたが、無事に体験を終了できて、安心しました。この体験を今後に活かしてほしいです。

(就業体験・保護者)

体験を終えて、もっと体力をつけたいと思いました。自分の気持ちを相手に伝えられるようにしていきたいと思いました。

(就業体験・生徒)

体験先の指導者からのありがたい言葉が救いでした。改善点を聞かせてほしかったです。

(就業体験・保護者)

今回、前回と違う仕事を体験しました。次もまた違う仕事をやってみたいと思いました。体験先で「助かった」と言われて、うれしかったです。(就業体験・生徒)



各学部の取組



小学部 ～仕事体験より～

仕事体験を希望する小学部6年生の児童が、キャリア教育の一環として、富山型デイサービス事業所等で手伝いや働く体験（事業所で行われている補助業務の一部の体験）をしました。体験した児童は、満足した表情を見せ、仕事の大変さや達成感を感じていたようです。

中学部 ～夏休みの生徒の生活より～

夏休みは家族と過ごせる時間がいつもより長いこともあり、両親が自分たちのために仕事や家事など頑張ってくれていることがより分かりました。家族のために炒め物など食事の手伝いをしました。これからは視野を拡げることが大切だと親に諭され、なるほどと思いました。(中3生徒)



お母さんにくっついて、仕事場におじゃましました。事務の仕事をしているお母さんを見ました。家では、お皿の片付け、タオルたたみのお手伝いをしました。(中2生徒)

訓練に行ったり、お家でも積極的にプロンボードにのったり…。外に出て、たくさんひまわりと写真を撮りました。すごくかわいかったです。夏休み中も体づくりに取り組み、元気に過ごせました。(中2生徒)

高等部 ～職業講話「先輩に学ぶ」～



7月29日に、高等部の生徒と保護者を対象に、就労している卒業生3名から、現在の仕事内容や通勤方法、在学中にしておけばよいことなどの話を聞きました。その一部を紹介します。

- ・人間関係をよくするため、協力して働くためにも挨拶をすることは大切です。
- ・メモ帳をいつも持っていて、言われたことをメモしています。
- ・指示されたことは、積極的にやってみるようにしています。
- ・在学中に体力を付けておくことが大切です。
- ・自分の気持ちをうまく伝えられないときは、メモや手紙に書いて伝えています。
- ・在学中に先生から注意されたことは、仕事をするときに役に立っています。聞いておけばよかったと思っています。

在校生は、自分の就業体験を思い起こし、将来の仕事に必要なことを卒業生から学ぼうと、積極的に質問していました。良い学びの時間となりました。

第1回インターンシップ推進委員会報告

インターンシップ推進委員会を開催しました。

日時：7月5日（火） 13:30～15:00

委員・富山公共職業安定所 就職促進指導官

- ・富山障害者就業・生活支援センター 就業支援ワーカー
- ・朝日印刷ビジネスサポート株式会社 管理部 部長
- ・特定非営利法人TEAM appreciate
多機能型事業所ジョブスクールさくらだに 施設長
- ・特別支援学校就労応援コーディネーター
- ・PTA代表
- ・学校関係者



協議内容：令和4年度事業計画について

令和3年度卒業生の進路先について

令和4年度高等部3年生・2年生の就業体験について 他

協議では、それぞれの立場から、現在の障害者雇用の現状や働くために必要な力について、多くの意見をいただきました。

○障害者雇用の現状

- ・環境などのハード面、人的支援などのソフト面など、働く人の必要に合う就労先をみつけることが難しい現状である。
- ・集団の中で働けない方が、在宅ワークの仕事についての例がある。在宅ワークでも働けるような世の中になればと願う。

○働くために必要なこと

- ・分かったときには「はい、分かりました。」、分からないときには「分かりません。」と意思表示する。
- ・素直に指示に従う。
- ・注意されたことは受け止めて、反省して改善する。
- ・生活習慣を整えて働き、理由のない欠勤はしない。

これらの意見を参考に、家庭と協力して、働くために必要な力を育てていきたいと思えます。

次回は令和5年1月20日（金）の予定です。児童生徒の自立と社会参加の推進を目的に、今後も関係機関と連携して、就労支援の充実を図っていききたいと思います。